株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

省スペース（AC 電源）変換器 ***F•UNIT*** シリーズ

出力バイアス形
比率変換器

FRT/FRTS

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●レシオ、バイアス演算を行う比率設定器 ●設定値モニタ端子に接続したテスタを見ながらレシオとバイアスを設定 ●レシオの設定範囲は 0.5 ～ 3.0**、バイアスは** ± 100 % **●密着取付可能**

アプリケーション例

●流量比率制御ループのレシオ設定用 ●空燃比設定用 ●コントローラ制御出力値（MV**）のゲイン演算 ●測定信号の大幅なスパン調整**

演　算　式：$X_o = KX_i + B$

ただし X_o ＝**出力信号（**%**）**

K ＝**レシオ**

（直線特性 0.5 ～ 3.0 **倍）**

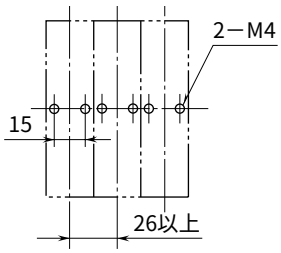
X_i ＝**入力信号（**%**）**

B ＝**バイアス（**-100 ～ +100 %**）**

設　置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -5 ～ +55**℃の場所**
●湿度が 30 ～ 90 %RH **で、結露しない場所**
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は、壁取付または DIN **レール取付が行えます。**
壁取付は下図の要領で行って下さい。

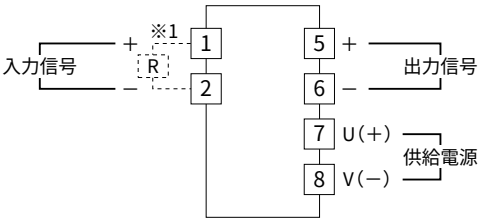
取付寸法図（単位：mm）



接　続

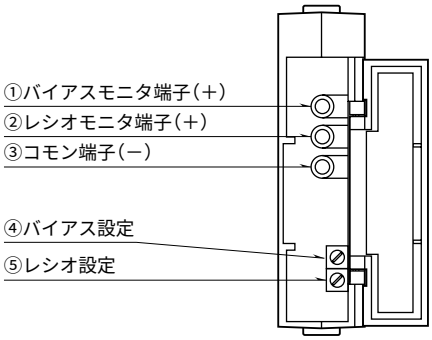
各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



※1、電流入力時は入力抵抗器（R）が付きます。

調　整



●解　　説

・レシオの設定

レシオモニタ（②－③）の電圧をレシオ設定（⑤）で設定して行います。この電圧は、レシオ 0.5 ～ 3 **に対して** DC 0.5 ～ 3 V **が出力されます。**

・バイアスの設定

バイアスモニタ（①－③）の電圧をバイアス設定（④）で設定して行います。この電圧は、バイアス-100 ～ +100 % **に対して** DC -1 ～ +1 V **が出力されます。**

・その他

コモン端子（③）、レシオモニタ端子（②）、バイアスモニタ端子（①）は先端の長径が 2.0 mm **のテスタ棒を挿入して測定して下さい。**

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②供給電源の電圧は正常ですか。
　端子番号⑦－⑧間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
③入力信号は正常ですか。
　入力値は、演算結果（出力）が0～100％になる範囲内であれば正常です。
④出力信号は正常ですか。
　負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

　雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

　本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。